

第6回 中央区自治協議会 会議概要（速報含む）

開催日時	平成30年9月28日（金曜）午後3時00分から午後4時00分まで
会場	中央区役所 5階 対策室
出席者	<p>委員</p> <p>田巻委員，清水委員，田村（幸）委員，外内委員，浅野委員，高橋委員，加藤委員，渡部委員，野澤委員，樋口委員，青木委員，廣瀬委員，川崎委員，伊藤委員，竹田委員，三國委員，田村（良）委員，関谷委員，田辺委員，菊地委員，佐藤（雅）委員，富樫委員，吉岡委員，堀委員，津吉委員，小林委員，細川委員，本間委員，渡邊委員，高岡委員，藤瀬委員，大滝委員，後藤委員，井上委員，肥田野委員</p> <p>出席 35名 欠席 3名 （南雲委員，佐藤（俊）委員，松田委員）</p> <p>事務局</p> <p>[新潟市教育委員会]中央区教育支援センター所長，中央公民館長 [中央区役所] 区長，副区長，窓口サービス課長，健康福祉課長，保護課長，建設課長，東出張所長，南出張所長，地域課長，地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員38名中35名出席のため，規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝田村会長）</p> <p>（1）中央の特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について（意見聴取） （資料 議1-1 1-2）</p> <p>○ 総務課長より，区ビジョンまちづくり計画の4つの方針に沿って立案された全13事業について説明がありました。</p> <p>○ また，事業提案の募集をした際，提案のあった2つの事業について，次のとおり提案者に回答した旨報告がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空き家対策に関する助成制度の強化について，市域外からの移住施策の取組状況や現行の補助制度の活用状況から，中央区独自で上乘せ助成することは難しい旨回答。 ○ 実行委員会形式での「新潟湊町物語」の実施について，今年度自治協議会提案事業として開催予定のイベントを成功させたうえで，事業効果の検証や古町界限の関係者の意向確認を行っていく必要がある旨回答。

○ 議長より、区役所企画事業に対する意見を自治協議会として回答していくため、意見があれば期限内に事務局宛提出するよう委員に対し依頼がありました。

- ・ 「地域主体の人口減少に関する取組推進事業」について、具体的にどのような取り組みを行うのかという質問があり、2つの中学校区で試行的に実施する研修会やワークショップをはじめとして、今後地域カルテを活用した取り組みについて深掘りを行っていく旨説明がありました。

3 報告

――自治協議会委員活動報告――

(1) 部会からの報告について（資料 報1-1 1-2 1-3）

- 「地域活性化部会」浅野座長、「福祉・安心安全部会」渡邊座長、「水辺とみなと部会」外内座長、「中央区自治協議会だより編集部会」細川座長より、部会等の開催概要及び検討内容について報告がありました。
- 「地域と学校部会」井上座長より、提案型協働事業について、現在進行している事業の報告があり、委員に対し今後の申請増加に向けた呼びかけについて協力依頼がありました。

――各所管課からの説明（報告）――

(2) 中央区自治協議会の方向性（案）について（資料 報2-1 2-2）

- 地域課長より、今後の中央区自治協議会の方向性について、基本的方向性、中央区自治協議会全体の目指す役割、新しい委員構成、部会の目指す役割、新しい部会構成といった内容の説明がありました。
- 以下のとおり、質問と意見がありました。
 - ・ 部会に求められる役割がいまひとつ理解できないという意見があり、自治協議会全体会議の中では議論し尽くせない内容について掘り下げて審議を行う場である旨回答がありました。
 - ・ 区役所企画事業である「アトリウム発にぎわいプロジェクト」と「第1部会」が扱う分野は関連性のあるものなのかという質問があり、様々な民間の取り組みも含めて相乗していくものと回答がありました。

4 その他

(1) 中央区支え合いのしくみづくり会議構成員の選出について

	<p>○ 議長より、中央区支え合いのしくみづくり会議事務局からの会議の参加依頼に対し、了承した旨報告がありました。</p> <p>5 閉会</p>
傍聴者	3名
報道機関	1社